



学校評価アンケートありがとうございました。

1 広沢っ子宣言と令和6年度の重点目標

- 宣言1 笑顔で気持ちのよいあいさつをし、マナーを守って行動します。
重点目標：自分から進んであいさつする子 (95%以上)
- 宣言2 相手を思いやり、友達にやさしくします。
重点目標：友達を大切にする子 (90%以上)
- 宣言3 自分の夢をかなえるために、進んで勉強します。
重点目標：勉強が楽しい子 (85%以上)
- 宣言4 チャレンジしたことを最後までやり抜きます。
重点目標：目標に向かって頑張る子 (95%以上)
- 宣言5 命を大切にし、けがや病気に気をつけて生活します。
重点目標：病気やけがに気を付けて生活する子 (90%以上)



* () 内は重点目標に対しての数値目標

2 アンケート結果 (児童)

☆ 児童の評価

* 集計結果は、「あてはまる」、「だいたいあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R5	R6	R5との比較
宣言1	1	わたしは 家族や友達、先生に進んで気持ちのよいあいさつをしている。	91.5%	89.9%	-1.6%
	2	わたしは、正しく廊下や階段を歩いて、落ち着いて生活している。	81.4%	75.9%	-5.5%
	3	わたしは、学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。	76.5%	83.5%	+7.0%
宣言2	4	わたしは、丁寧で温かい言葉遣いをしている。	86.2%	81.2%	-5.0%
	5	わたしは、進んでかがやきレターを書いたり、友達のよいところを見付けたりしている。	66.8%	62.6%	-4.2%
	6	わたしは、いじめをしないで、友達を大切にしている。	96.0%	93.3%	-2.7%
宣言3	7	わたしは、勉強が楽しい。	78.2%	81.8%	+3.6%
	8	わたしは、見通しをもって計画を立てたり、振り返りをしたりして課題を解決している。	80.8%	81.1%	+0.3%
	9	わたしは、計画的に家庭学習に取り組んでいる。		86.2%	
	10	わたしは、クロムブックや図書を使って、進んで調べたり、まとめたりしている。	80.0%	74.8%	-5.2%
宣言4	11	わたしは、今の勉強がこれからの生活や将来に役立つと感じている。	91.5%	91.3%	-0.2%
	12	わたしは、自分のめあてに向かって最後までやり抜いている。	92.7%	90.9%	-1.8%
宣言5	13	わたしは、行事や暗唱に向けて、一生懸命取り組んでいる。	91.7%	92.6%	+0.9%
	14	わたしは、病気やけがに気を付けて生活している。	92.5%	92.9%	+0.4%
	15	わたしは、交通安全に気を付けて生活している。	97.1%	95.6%	-1.5%
	16	わたしは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	76.3%	72.5%	-3.8%
	17	わたしは、お世話になっている保護者や地域ボランティアの方に進んで挨拶をしている。	90.8%	90.6%	-0.2%

<アンケート結果 (児童) を受けて>

- 広沢っ子宣言3「わたしは、勉強が楽しい」の数値が昨年度に比べて3.6%上昇しました。これは、今年度「かいけつする力」の育成を学校運営の重点項目として、ICT機器を活用して個別最適な学習と協働的な学習の一体化を図った授業改善に積極的に取り組んできたことにより、子供たちの学びに対する意識が少しずつ変わってきたことの表れであると考えます。
- 広沢っ子宣言1「わたしは、学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。」の数値が昨年度に比べて、7%上昇しました。決められた掃除の時間は、週1回だけですが、休み時間に進んで清掃活動をする子が増えました。
- 広沢っ子宣言1「わたしは、家族や友達、先生に進んで気持ちのよい挨拶をしている」の数値が昨年度の比べて1.6%下降し、肯定的な回答の児童が90%を下回ってしまいました。挨拶は、相手とのコミュニケーションを図るための基本となりますので、今後も、家庭・地域と連携して取り組んで挨拶の意識を高めていきます。
- 広沢っ子宣言2では、すべての項目で数値が昨年度に比べて下降してしまいました。今後も引き続き、丁寧で温かい言葉をつかう指導を中心に学習や生活、行事などを通して相手を思いやる気持ちを育むようにしていきます。また、「いじめ防止基本法」に基づき、子供の些細な心の変化をも見逃さない「いじめ見逃し0」を目指します。

3 アンケート結果（保護者）

☆保護者の評価

*集計結果は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R5	R6	R5との比較
宣言1	1	お子さんは、家族や友達に進んで気持ちのよい挨拶をしている。	87.9%	86.8%	-1.1%
	2	お子さんは、学級や学校のために、進んで清掃や委員会活動（5・6年）に取り組んでいる。	87.2%	93.4%	+6.2%
宣言2	3	お子さんは、友達に思いやりのある言動ができています。	94.8%	95.6%	+0.8%
	4	感動や体験の場が、お子さんの心の成長につながっていると感じる。	99.5%	99.8%	+0.3%
宣言3	5	お子さんは、勉強が楽しいと感じている。	74.6%	74.8%	+0.2%
	6	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	89.8%	86.6%	-3.2%
	7	お子さんは、クロムブックを活用した授業をしていると話をしている。	83.9%	88.8%	+4.9%
	8	お子さんは、計画的に家庭学習に取り組んでいる。		71.0%	
宣言4	9	お子さんは、自分の目標に向けて粘り強く取り組んでいる。	84.6%	80.7%	-3.9%
	10	お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。	91.2%	94.9%	+3.7%
宣言5	11	お子さんは、健康に気を付けて生活している。	92.9%	92.2%	-0.7%
	12	お子さんは、交通安全に気を付けている。	95.5%	97.3%	+1.8%
	13	お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	76.0%	73.9%	-2.1%
その他	14	学校は、積極的に情報を発信している。（各種たより・ホームページ・授業公開等）	97.2%	97.5%	+0.3%
	15	学校は、家庭と連携して教育活動にあたっている。（三者面談や学級懇談会、教育相談日の設定等）	98.6%	97.0%	-1.6%
	16	学校は、地域の教育資源（施設や人材）を生かすことで、子供の豊かな教育につながっている。	95.5%	94.1%	-1.4%

<保護者の皆様からの主な御意見>

◎家庭学習について

- ・家庭学習においては、本人の意思でチャレンジできるところがすばらしい。授業やテストと連動して、さらに学習を深める様子が出てきた。
- ・家庭学習が自分で計画を立てるスタイルに変更になったが、自分できちんと計画立ててできる子は自主性や計画性、達成感も養われてよいと思うが、そうでない子は、どんどん周りから遅れてしまうのではないかと懸念している。
- ・自主学習について、どんな取り組みをしているのか、共有できるとよい。

◎音楽会について

○「勉強が楽しい」と感じる児童が増え、主体的に学びに向かう姿勢が育ちつつあります。その一方で今年度から家庭学習の方法が変わり、戸惑いや不安に感じた保護者もいらっしやった。家庭学習の意義や子供たちに身に付けたい資質・能力について丁寧に説明したり、保護者と連携して取り組み具体的な方法を考えたりしていきます。

- ・音楽会に両親で参加できるようにしてほしい。子供の成長を2人でみたい。
- ・音楽会は、我が子の学年だけでなく、他の学年も鑑賞したい。昔のように観客席に近い自校の体育館で十分だと思います。

○会場の座席数が限られていますが、来年度の音楽会も音響効果の高い中で、保護者の方に子供たちの成長を見ていただきたく、浜松市立高校の講堂をお借りして開催します。ただ、参観できる人数やあり方については、PTAと連携しながら今後検討していきます。

◎体力向上について

- ・部活動がなくなってしまうのが残念でならない。学年を超えて一緒にスポーツに取り組めた時間がよい経験となり、自信と成長につながった。
- ・もっと外遊びができるようにさせてほしい。休み時間も室内にいることが多いように思う。

○部活動が廃止され、どのように運動量を確保していくのが課題となります。来年度も休み時間が削られてしまう特日課をなるべく減らし、外遊びができる時間を確保します。また、継続して運動ができるように、マラソンカードや縄跳びカード等を活用しながら体を動かすことに楽しさを子供たちに伝えていきたいと思えます。

4 職員の評価

- 個別最適な学びと振り返りを進めてきたことで、子供たちが自ら学ぼうとする姿や助け合い・協力する姿、学びを調整する姿が見られるようになってきた。
- キャリア教育で育てたい（かいけつする力）を意識して学習や行事に取り組むことができた。
- 行事に対して自らの目標をもち、それを意識しながら練習に取り組めた。行事後もこれまでの過程を振り返ることで、次への目標につなげることができた。
- 学校や学級のために掃除や環境整備、委員会活動などが行える児童が増えている。人のために役にたっているという達成感を感じ取らせたい。
- 昨年度に比べ、「進んで掃除や委員会活動に取り組んでいる」と回答した児童が7%増加した。高学年は、自覚をもって委員会活動ができていたと考えられる。6年生の「広沢プロジェクト」も効果的だったかもしれない。
- 互いに個性を認めたり、困っている友達を助けたりすることができる児童が多い。
- 廊下歩行、教室での過ごし方の意識を高めたい。けがの予防と絡めながら発信していく方法を具体的に考えたい。
- 今以上にICTの活用が求められる。教師もICT技術や活用について日々研修をしなければならない。
- 家庭学習への取り組み方と保護者への協力や情報共有の仕方を再度検討し、自分が身に付けるべき力を自分で考える意識をその重要性について考えられる機会をもちたい。
- 挨拶をすると返してくれる子が以前よりも増えているが、すれ違っても挨拶しない児童や目を合わせなかったり、声が小さかったりする児童がいる。
- 相手の気持ちを気遣った温かい言葉遣いを学んでいけるとよい。きつい言い方でトラブルになっている。

5 学校運営協議会による学校関係者評価

- 「勉強が楽しい」のアンケート項目が昨年に比べて3.6%上昇した。「かいけつする力」の育成に重点を置いて取り組んできた成果が表れている。勉強が楽しいかどうかは子供が決めることだが、保護者への情報提供の仕方を考えていきたい。
- 「お世話になっている保護者や地域ボランティアの方に進んで挨拶している」については、家庭環境が大きく影響している。家庭や地域に積極的に発信していくのも成果を上げることにつながる。自治会や保護者会などの集まりが減り、子供たちと関わる機会が減っている。授業だけでなく、クラブ活動や部活動などに地域人材を活用することで「かかわる力」にもよい影響を与えることができる。
- 「かかわる力」を育てるためには、学校だけでなく、家庭や地域と連携していくことが大切である。学校は、今後、相手を気遣う温かい言葉遣いについて心に響くように指導したり、「いじめ防止基本方針」に従って「いじめ見逃し0」となるように早期発見・早期対応を継続したりしていきたい。

6 今後の改善方策

目指す学校の姿 「大好き広沢 ～みんなの笑顔があふれる学校～」

子供も職員も信頼し合い、幸せを感じて笑顔で生活し、わくわくした前向きな気持ちが、保護者や地域の方々にも伝わり、つい笑顔がこぼれてしまうような教育活動を推進する。そのために、キャリア教育と広沢っ子宣言との関連を図りながら、自分らしく生きていくための基礎的・汎用的能力を育てていく。

【重点1】「かいけつする力」（課題対応能力）の育成

- 「勉強が楽しい」と感じる子を増やす。ICT機器（タブレット端末機）を積極的に活用して、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」を図った授業づくりに取り組み、主体的に学習に取り組む子を育てる。
- 学校の授業と連動して、自分で計画を立てて家庭学習に取り組むことができるに支援をする。また、家庭学習のあり方について、保護者と共有する方法を工夫する。

【重点2】「かかわる力」（人間関係・社会形成能力）の育成

- 子供が気持ちよく生活できるように、挨拶や温かい言葉遣いの大切さについて、さまざまな方法を工夫して根気強く指導する。
- 学校が子供にとって安心できる場所になるために、多様性を認め合い、より良い人間関係を構築する。そのために構成的エンカウンターやピア・サポートの取組、いじめの未然防止、早期発見、組織的対応に取り組む。
- 学校運営協議会のサポートにより、学校支援活動や地域人材の確保、「広沢小見守り隊」の取組を推進する。